

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

明治 大学 藤江 ゼミ A パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ 地方におけるオープンイノベーションについて

サブテーマ 企業と行政が協力したオープンイノベーションで地方創生はできるか

趣意文

現在、オープンイノベーションといわれる自社だけでなく他社や大学、地方自治体、社会起業家など異業種、異分野が持つ技術やアイデア、サービス、ノウハウ、データ、知識などを組み合わせ、革新的なビジネスモデル、研究成果、製品開発、サービス開発、組織改革、行政改革、地域活性化、ソーシャルイノベーション等につなげることが多く行われている。これをより活性化させるために、地方型サテライトオフィスの施策を掛け算することで、日本の課題である地方創生を解決できるだろうか？具体的な施策をもとに考えていく。

テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

神奈川大学

清水ゼミ

マッチ(B)パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ

所得格差

サブテーマ

趣意文

現在日本人の多くが貧しくなっている。

その原因のひとつに企業の内部留保を挙げる。企業は内部留保を溜め込み、本来行うべき設備投資や賃金の引き上げをせずに、証券投資や他企業の買収を行っている。これでは労働者への所得分配が正しく行われるはずがない。

さらに、所得が低下することで、晩婚化や出生率の低下、子どもの貧困、ロストジェネレーション、ワーキングプアなどの問題も出てくる。

では、企業が内部留保を減らし、労働者へ賃金を回すようになれば、ロストジェネレーションやワーキングプアに陥っている人達が雇用されるようになるのではないか。

我々はこの所得分配が正しく行われるようにする政策、貧困に陥っている非正規労働者が正規雇用で働けるような政策を模索していく。